

丹沢ボラネット瓦版

2020年7月号 No.108



↑写真 鍋割山稜 春 ブナ原生林の芽吹き



↑写真 ニホンジカ 新型コロナウイルス感染危機で生息数の変化は？(表尾根塔ノ岳近く)

令和2年度丹沢大山ボランティアネットワーク総会

写真→
丹沢大山登山環境意識
調査アンケート回収箱
(新松田駅前)

令和2年度事業は
新型コロナウイルス対策のため
登山環境意識調査まとめ
が主な事業になります。



令和二年度総会は新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、初めての電子文書とメールでの開催となりました。今回瓦版は、この総会を記録に残すため重要資料を載せます。

この新型コロナウイルス危機年度のボラネット活動のおよその様子が県民にも次世代にも伝われば幸いです。

総会案内

令和2年3月26日

丹沢大山ボランティアネットワーク構成団体 御中

丹沢大山ボランティアネットワーク

世話人会代表 小林昭五

令和2年度丹沢大山ボランティアネットワーク総会の開催について (通知)

平素より丹沢大山ボランティアネットワークの活動に格別のご理解とご協力を頂き厚くお礼を申し上げます。

さて、上記の件について新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、電子文書とメールでの開催することと決定いたしました。

丹沢大山ボランティアネットワークも積極的に感染拡大防止のため協力行動をしたいと思います。

どうか電子文書とメールでの総会をご理解ください。

なお、監査等に関しては関係者が協議して行います。

1 総会日程

4月17日(金) 総会原案提出

4月22日(水)まで 質疑、意見、回答

4月23日(木)～4月26日(日) (午前中まで) 賛否表明

4月26日(日) 午後決定、総会終了

2 議題

(1) 令和元年度事業報告・決算報告

(2) 令和2年度事業計画・予算(案)

(3) 世話人会の改選

(4) その他

①水質調査・夏休み親子自然探検隊の交通費等について

総会資料 (※資料の一部を赤字又は青字に変更しております。)

令和2年度事業計画(案)

1 総会

実施日 令和2年4月26日(日)

場 所 神奈川県自然環境保全センター レクチャールーム

内 容 令和元年度事業・決算報告及び令和2年度事業計画・予算案ほか

2 世話人会

実施日 年4回(6、9、12、3月の第1水曜日)

場 所 神奈川県自然環境保全センター(ワーキングルーム)

出席者 世話人及び自然環境保全センター自然保護課職員

内 容 事業の企画運営ほか

3 活動事業

(1) 水質調査

実施日 令和2年5月

場 所 丹沢大山地域 水場21箇所

内 容 大腸菌等10項目の水質検査

(2) 夏休み親子自然探検隊(後援)

実施日 令和2年8月2日(日)

場 所 山北町皆瀬川

内 容 公募県民親子を対象に丹沢の生き立ちや水の大切さを学習する

(3) 講演会

実施日 令和2年6月20日(土) 10:00~12:00
場 所 神奈川県自然環境保全センター レクチャールーム
内 容 「丹沢大山の動物について」(仮)
講 師 日本哺乳類学会員 青木 雄司 氏

(4) 外来種調査

実施日 令和2年10月24日(日)
場 所 神奈川県自然環境保全センター自然観察園
内 容 池の外来種調査

(5) 丹沢大山登山環境意識調査(前回平成27年度)製本

内 容 昨年度の意識調査の結果をもとに製本

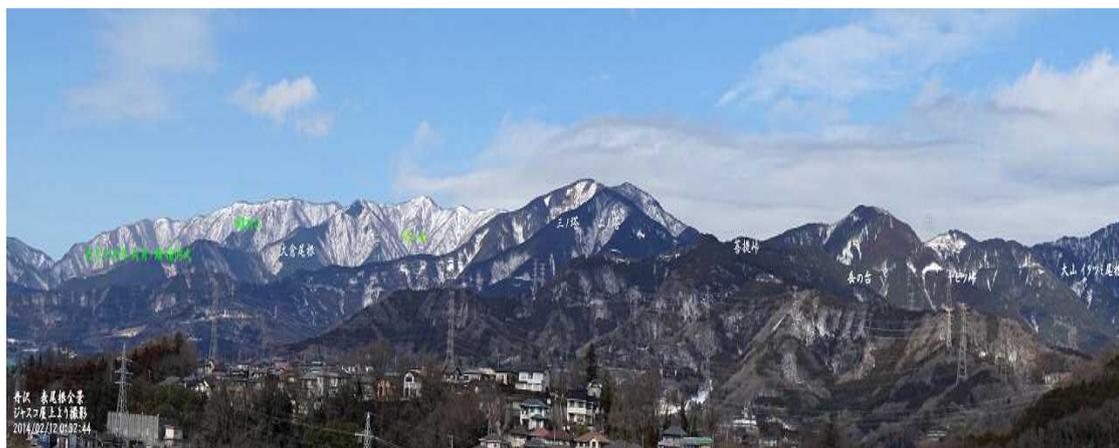
※ (1)~(4)については、新型コロナウイルス感染症をめぐる社会情勢を踏まえ、中止等の可能性があります。

4 広報

- (1) 瓦版の発行
- (2) 活動報告書の作成
- (3) ホームページの更新

5 関係会議等への出席

- (1) 緑を育む集い実行委員会
- (2) 丹沢大山自然再生委員会



↑写真丹沢中央部と表尾根全景

左上雪山から(丹沢中央部 同角ノ頭 檜洞丸) 鍋割山 大倉尾根 塔ノ岳 三ノ塔 二ノ塔 菩提峠 岳ノ台 ヤビツ峠 大山(イタツミ尾根)

令和2年度予算(案)				
1 収入の部				
科目	予算(A)	前年度予算額(B)	比較(A-B)	備考
会費	64,000	64,000	0	2,000円×30団体+未払2団体(4,000円)
助成金	870,000	850,000	20,000	丹沢の緑を育む集い実行委員会 水質調査、登山者意識調査、夏休み親子自然探検隊、外来種駆除活動、講演会
参加費	60,000	46,000	14,000	2,500円×24組(大人1,500円、子ども1000円)
繰越金	11,802	2,277	9,525	
合計	1,005,802	962,277	43,525	
2 支出の部				
科目	予算(A)	前年度予算額(B)	比較(A-B)	備考
水質調査	260,000	260,000	0	交通費補助、採水ビン送料、検定料等
登山者意識調査	120,000	220,000	▲ 100,000	製本代等
夏休み親子自然探検隊	360,000	370,000	▲ 10,000	バス借上げ代、講師謝礼、保険料、交通費補助、資料代、諸器具・消耗品費
外来種駆除活動	70,000	10,000	60,000	講師謝礼、資料代、諸器具・消耗品費等
講演会	50,000	30,000	20,000	講師交通費、資料代等
世話人会運営費	53,000	30,000	23,000	交通費補助、通信費等
丹沢大山自然再生委員会会費	10,220	10,216	4	会費、振込手数料等
予備費	82,582	32,061	50,521	
合計	1,005,802	962,277	43,525	

水質調査・夏休み親子自然探検隊(後援)等の交通費等(案)について

次のように改定します。

- 1 電車バスの人交通費 → 実費を負担する。(車同乗するまでの実費)
- 2 車出す人の交通費 → 3,000円を負担する。

水質調査については一箇所最高で2人参加分負担する。

理由 転落、落石等の危険があるので安全を考慮しました。

水質調査で今までと変更された点は以下2点です。

3,000円 → 実費 (車を出す人は3,000円→3,000円)

1人分援助→最高2人分まで(安全や作業のため2人行動)

参考 今までの水質、親子の交通費支給金額の様子

・水質調査 1箇所につき3,000円 2カ所なら6,000円

・夏休み親子自然探検隊 準備を含め1回参加3,000円、2回なら6,000円

車出す人は別に1回2,000円がプラスされます。

- 3 遠隔地水汲み徒歩について等は

令和2年度の世話人会で話し合いたいです。

(今まで考慮していない)

- 4 水質調査や夏休み親子自然探検隊等の交通費等に関しては

親子後援もボラネットの予算の内での支出事業なので1、2で同じにします。

(今までそれぞれ援助の内容が異なっていた)

<今後の課題>

水質調査や夏休み親子自然探検隊等の事業は、県とのパートナーシップのもと取り組んでいる事業です。

ボラネット世話人会は、定年延長があり、再任用もある現在、共同事業を支えるボラネットの各団体が高齢化し解散する団体や弱体化する団体がある中で、どのような支援を行えるかが課題になっています。

丹沢大山の環境保護のため、事業が今後先細りでなく、持続的にどうしたら発展させる事が出来るか、大局的視点に立って考えたいと思います。

今まではボランティア各団体の献身的努力の中で何とか支えられてきました。

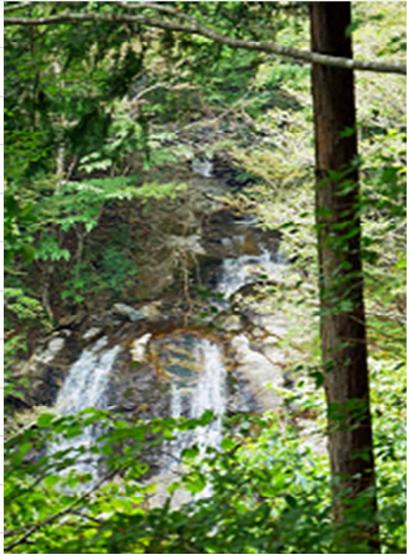
そのような環境の中で次年度世話人会では参加しやすい環境を整えたいです。

私達は今後も水質の様子や研究材料を県民の皆様へ伝えていきたい希望があります。

当面の課題は一軒屋避難小屋前水場等の難関な場所をどうするか考えたいと思います。

「水質調査は良い事業ですね」と褒められ、もっと丹沢の水質のデータを知りたいなどの言葉を多く頂いています。このような言葉で励まされます。

丹沢大山ボランティアネットワーク参加団体一覧

	団体名		
1	神奈川県勤労者山岳連盟		
2	横浜わらび山の会		
3	神奈川県山岳連盟		
4	神奈川県自然保護協会		
5	かながわフィールドスタッフクラブ		
6	神の川ヒュッテ管理委員会		
7	北丹沢山岳センター		
8	山綾会		
9	四十八瀬川自然村		
10	自然塾丹沢ドン会		
11	丹沢けものみちネットワーク		
12	丹沢ゴミ調査会		<p>↑写真 西丹沢白石の滝 火山活動による接触変成 でフォルンフェルス 大理石 等の変成岩が見られる。</p> 
13	丹沢自然保護協会		
14	丹沢ブナ党		
15	西丹沢の自然にふれあう会		
16	蛭ヶ岳山荘委員会		
17	みろく山の会		
18	野生動物救護獣医師協会神奈川支部		
19	かながわ野生動物サポートネットワーク		
20	町田グlaus山の会		
21	ハローウエイズ		
22	伊勢原森林里山研究会		
23	美登会		
24	丹沢自然学校		
25	野生動物救護の会		
26	足柄丹沢の郷ネットワーク		
27	湘南自然観察クラブ		
28	伊勢原の自然と環境を守る会	<p>↑写真 ミズヒ大滝 鍋割山登山道付近にあります。 水量の豊富な滝です。</p>	
29	丹沢山小屋組合		
30	丹沢環境推進会議		

令和2年度丹沢大山ボランティアネットワーク総会結果(報告)

1 日時・場所

新型コロナウイルス感染症をめぐる社会情勢を踏まえ、書面にて開催

- ・ 令和2年4月 17 日 各団体に資料送付
- ・ 令和2年4月 26 日 各議案への賛否回答締め切り

2 出席者

別紙出席者名簿のとおり(回答 18 団体、未回答 12 団体)

3 各議案の承認状況

すべての議案について、出席者(回答者)の過半数の賛成により、承認された。

(丹沢大山ボランティアネットワーク会則第7条第3項)

議案1: 令和元年度事業報告・決算報告

資料1. 2のとおり承認(賛成 18、反対0)

議案2: 令和2年度事業計画・予算(案)

資料3. 4のとおり承認(賛成 18、反対0)

議案3: 世話人の改選

資料5のとおり承認(賛成 18、反対0)

議案4: その他(水質調査・夏休み親子自然探検隊の交通費等について)

資料6のとおり承認(賛成 18、反対0)

4 その他(意見等)

- ・ 丹沢大山登山環境意識調査の公表方法について、製本だけでなく、ホームページ等でも確認できるようにしてほしい。

⇒公表方法について、ホームページ公開も含めて自然環境保全センターとも調整していく。

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、外出自粛が求められる中、会費の徴収方法について、従前の現金納付ではなく、銀行振込等について検討してほしい。

⇒ 銀行振込について検討する。



↑写真 ボラネット活動
自然環境保全センター観察池(たたら沢)



↑写真 自然観察会
葛葉川(葛葉の泉) 川の水音聴き

令和2年度丹沢大山ボランティアネットワーク世話人

	氏名	団体名	任期
代表	小林 昭五	NPO法人丹沢自然学校	令和2.4～令和4.3
副代表	小野 均	NPO法人四十八瀬川自然村	令和2.4～令和4.3
副代表	山口 寿則	NPO法人伊勢原森林里山研究会	令和元.4～令和3.3
会計	黒坂 博	丹沢環境推進会議	令和2.4～令和4.3
監事	安井 啓子	NPO法人野生動物救護の会	令和元.4～令和3.3
監事	森島 眞知子	町田グlaus山の会	令和元.4～令和3.3
	栗林 弘樹	丹沢ゴミ調査会	令和2.4～令和4.3

新世話人 黒坂博氏の挨拶(丹沢環境推進会議)

今回、会計のお手伝いをする事になりました。

代表の小林さんとは古い付き合いになります。
首都圏の人も丹沢に興味を持っている人が多いようで、定年になったら、こちらでボランティアをやりたい、こちらから首都圏に通えるか等言ってくる人もおりました。

知り合いの大工さんは、一日一万歩で丹沢に登ろうと言っています。

私も心がけています。

神奈川はこの合言葉の下に長寿県をめざしていけるかなと思っています。



↑写真黒坂様

登山環境意識調査活動(新松田駅前)

任期満了辞任の世話人

石山 浩恵 様 (会計監査) お疲れ様でした。感謝を申し上げます。

多田 慎一 様 (会計) お疲れ様でした。感謝を申し上げます。

丹沢大山ボランティアネットワーク参加団体行事等案内

北丹沢山岳センター・蛭ヶ岳山荘・神ノ川ヒュッテ管理委員会

神ノ川ヒュッテは、昨秋の台風19号での林道土砂災害および新型コロナウイルス禍のため、
只今休業中です。それに伴い、林道の点検活動や清掃活動等ボランティア活動も
活動停止中です。

なお、見守りパトロールは定期的に行っています。写真で林道の様子をお知らせします。
よろしくお願いいたします。

神ノ川ヒュッテ管理委員会・北丹沢山岳センター・杉本 憲昭



東海道自然歩道青根付近



林道へ積もった土砂



神ノ川ヒュッテ付近の様子



土台が流されたヒュッテの建物

西丹沢の自然にふれあう会



2019年12月
例会 仏果山

2020年6月例会 ゴーラ沢出合
ソーシャルディスタンス



◆ 月例清掃登山

「西丹沢の自然にふれあう会」では、清掃（コロナにより中止中）登山を行っています。
軽いハイキングができる方、どなたでも参加大歓迎です。

8-10月の予定は、次のとおりです。集合の後、バスを利用して目的地に向かいます。

詳細はお問い合わせ下さい。 mnumano@jcom.home.ne.jp 沼野正睦

月 日	行先	集合など（変更の可能性あります）
8/22（土）	・西丹沢 VC～本棚・下棚(ピストン)	8時 新松田駅 バス利用
9/26（土）	・A:西丹沢 VC～善六のタワ～哇ヶ丸避難小屋(ピストン) ・B:西丹沢 VC～本棚・下棚(ピストン)	8時 新松田駅 バス利用
10/24（土）	・バス停～富士見橋～二ノ塔～三ノ塔(ピストン)	8時 秦野駅北口バス利用

自然環境保全センターから

自然環境保全センターでは、自然保護課において、丹沢大山ボランティアネットワークの庶務として、ボラネット活動の支援を行っております。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、当センターでも、7月現在、各種研修や行事、研修室の貸し出し等を中止しておりますが、野外施設及び屋内展示施設については、6月から再開しております。

また、今年度から、当センターのホームページの他、Twitter でも、野外施設の状況等の情報発信を始めましたので、是非ご覧ください。

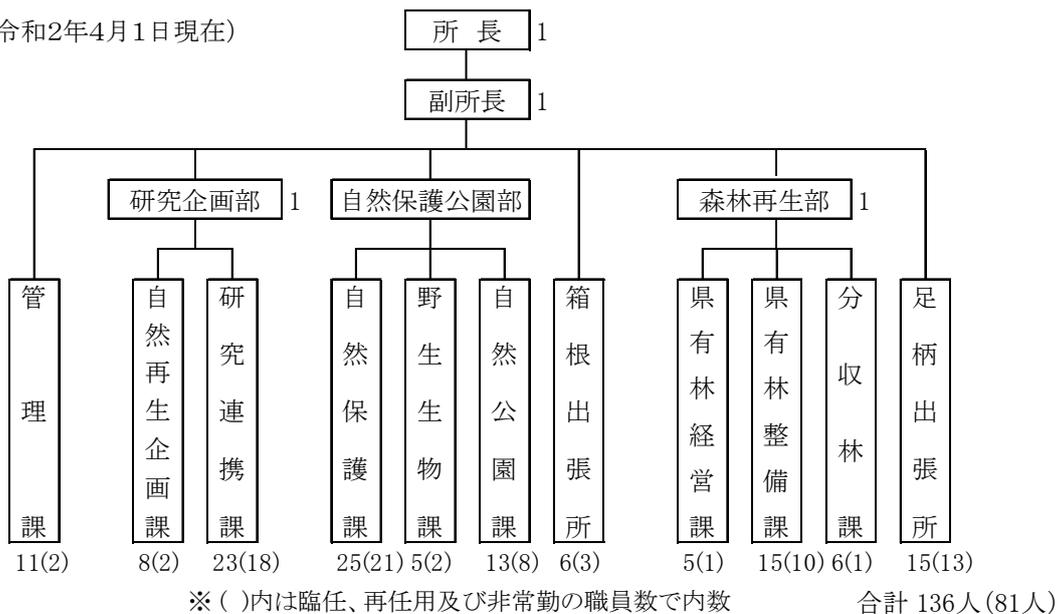
<自然環境保全センターTwitter>

URL : https://twitter.com/hozenc_kanagawa

(県トップページ→ソーシャルメディア一覧にもリンクが掲載されています)

<自然環境保全センター組織>

(令和2年4月1日現在)



【連絡先】 自然保護課(ボラネット庶務担当) 市川 046-248-6682

丹沢ボラネット瓦版2020年7月号(通巻108号)7月17日発行
丹沢 大山ボランティアネットワーク世話人会代表 小林 昭五